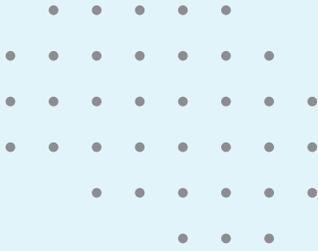


# 弁護士・三ツイ





キミらしいミライのため  
**「最強の自由業」**  
目指しませんか？



弁護士って、争いごとの解決ばかりに関わるイメージがありませんか？

確かに、弁護士の業務は、伝統的には争いごとの解決が中心でした。

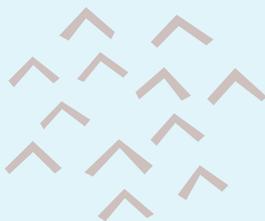
花江未来も、弁護士についてそういうイメージを持っていました。

でも、本当は、弁護士って、いろいろなことができるんです。

花江未来といっしょに、キミらしいミライのため

## **「最強の自由業」= 弁護士**

のぞいてみませんか？





# INDEX

## 「未来× ミライ=弁護士」

原作：サダナガケンスケ

作画：ささきゆうさく

著：第二東京弁護士会 . . . . . 5

## 弁護士インタビュー

菊間千乃 「KIKUMA× 弁護士」 . . . . . 43

貞永憲佑 「ゲーム× 弁護士」 . . . . . 47

森本周子 「学校× 弁護士」 . . . . . 51

市川啓一郎 「世界× 弁護士」 . . . . . 55

おわりに . . . . . 59

真琴先生  
お元気ですか？

先生に  
出会ってから  
10年が経ち  
私も30歳に  
なりました

あんなに内気で  
これといった  
特技もなく  
普通の大学生  
だった私ですが

いまは  
弁護士として  
充実した毎日  
を過ごしています

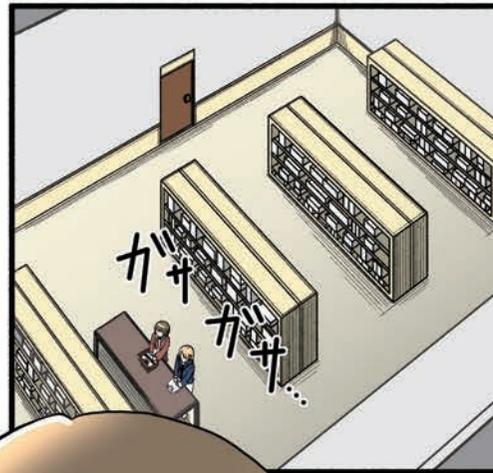
それ  
聞いちゃいます？  
長くなりますよ？

花江先生が  
弁護士になった  
きっかけは  
何でしょう？

もう  
10年前の  
話ですけどね…

そりゃあ  
取材ですから  
どんとこいです







あたしは  
もちろんテレビ局！  
バラエティの  
ディレクターになる！

一女の時から  
お笑い一筋！

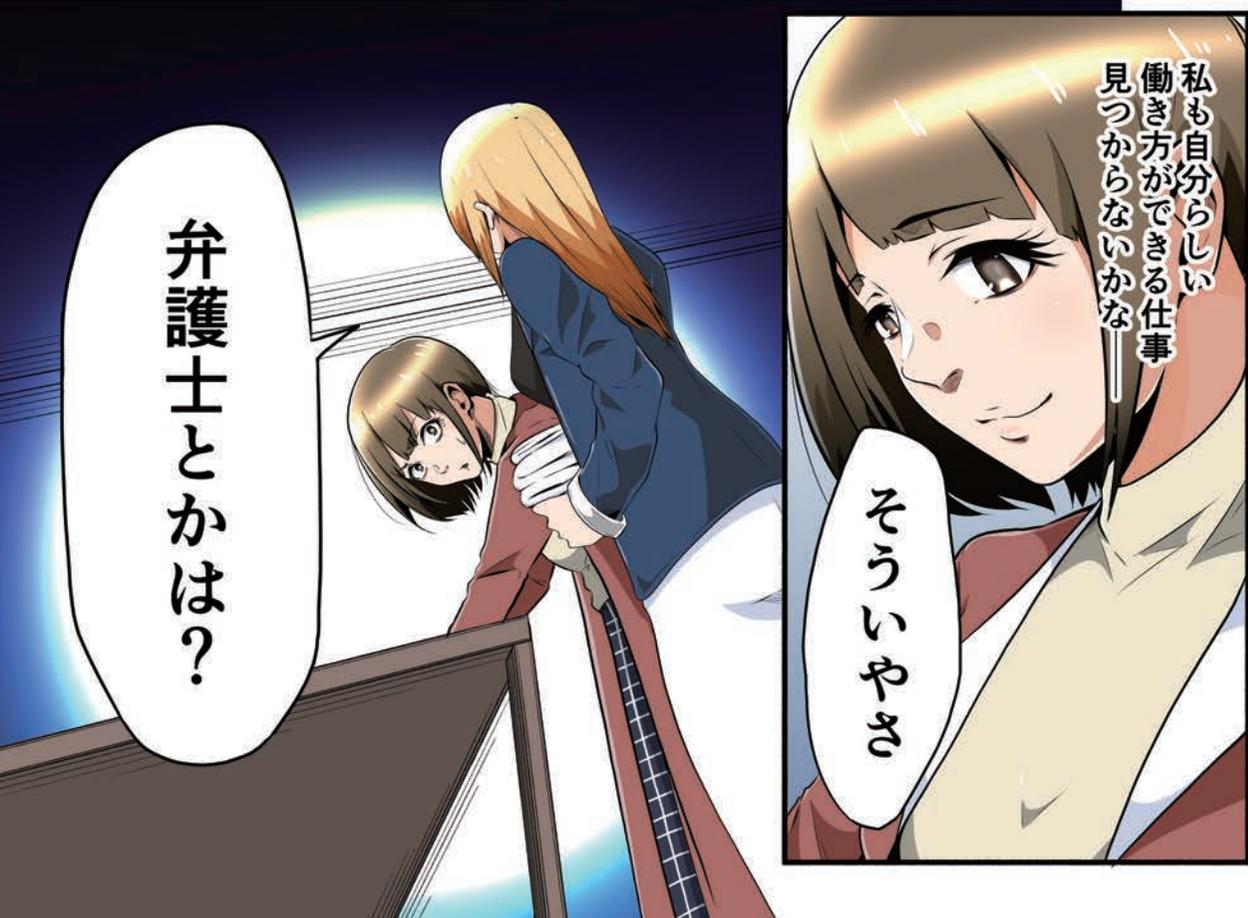
そっか！  
入学の時から  
言ってたもんね！

そうそう！  
昔からの  
夢なんだよね！



でやー…

すごいなあ  
加奈には  
夢があつて…



私も自分らしい  
働き方ができる仕事  
見つからないかな

そういやさ

弁護士とかは？

未来のパパ  
有名な  
弁護士でしょ？  
こないだ  
テレビにも出てた

ムリムリ  
ムリムリ！

あたしには  
無理だよ！



お父さんのことは  
尊敬してるけど…

逆転勝訴

あんなふうには  
私  
なれないかな…



まあそうだよね、  
高校の文化祭準備で  
男子が喧嘩し始めた  
ときも未来ワタワタして  
ばっかりだったし

それ言うの  
やめてよ……！

あはは！  
ごめんって！



こっちの任分け  
おーあり!!



私  
花江未来

フアッションや  
アイドルが好きな  
どこにでもいる  
普通の大学2年生です

そろそろ進路を  
決めないと  
いけないのに  
全然決まりません

「わたしも  
お父さんなぞか」

漠然と  
「こんな人生を生きたい」  
っていう夢はあるけれど

どんな仕事に  
つきたいかは  
全然イメージ  
できなくて

志望業界を  
どんどん決めていく  
同級生たちに  
おいていかれてる  
みたいで

最近  
なんだか  
さみしいです

私のお父さんは  
弁護士なので  
私にも弁護士に  
なってほしそうだけど…

君も  
弁護士に  
なろうツ!!

私は正直  
弁護士なんて  
向いていません

「ヒック」  
「薬害事件で逆転判決」  
「花江弁護士団長を直撃」

お父さんみたいに  
堂々なんて  
できないし

人前で堂々と  
意見を  
言うのだって  
苦手だし…

えん…  
その…

本当は自分らしく  
生きられる仕事を  
見つけたいん  
だけど…

なにが？

あ…！いや…！  
なんでもない！

そんな仕事  
どこかに  
ないかなあ…

でも未来さー  
このバイト  
好きなのは分かるけど

そろそろちゃんと  
考えたほうが  
いいかもよ

いっそ  
g & cの  
社員になるとか!!

**g & c**

うーん…

洋服自体は  
好きなんだけど  
デザインとかも  
できないし…

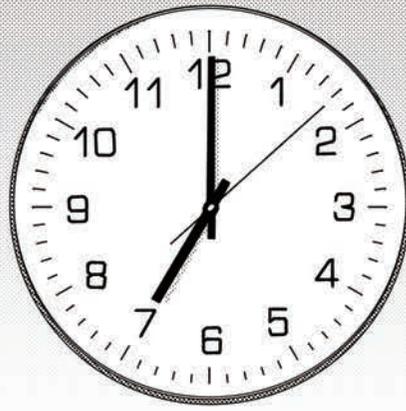
お客様と  
話すのも得意じゃ  
ないし…

g & cに入っても  
どんな仕事を  
していいか  
想像つかないん  
だよ…

そっかあ…

良いと思ったんだが…

ってやば！  
こんな時間じゃん！  
店長くるよ！



ほんとだ…！  
急がないと…！！

店長  
おはようございま…

イタツ！！

おはようー  
…って大丈夫？

…大丈夫です

そうだ  
花江さん

イデテ…

…はい？

花江さんが描いた  
コンペのデザイン  
決勝に残ってたよ

ええ！  
イタツ！！

何枚もデザイン  
描いて送ってた  
でしょ？

そのうちの1枚が  
決勝に残ったから  
来週本社の会議に  
出てくれるって

今日はよくぶつけるね…

このまえの  
バイトも含めた  
全社員の  
デザインコンペ…



大好きなブランド  
だから  
ただの趣味で  
応募しただけ  
だったのに…

ちなみに  
本社で何を…

イラスト  
マセシ

俺もよく  
わかんないけど

決勝に残った  
デザインを描いた人を  
ひとりずつ呼んで  
話を聞きながら  
企画を練って  
いくんだって

は…話を聞く…  
というのは…?

うん

呼ばれた人は  
勝敗を左右する

10分間の  
プレゼンタイムが  
あるってさ

プレゼン…

あ…

人前…  
勝敗…

キュッ…

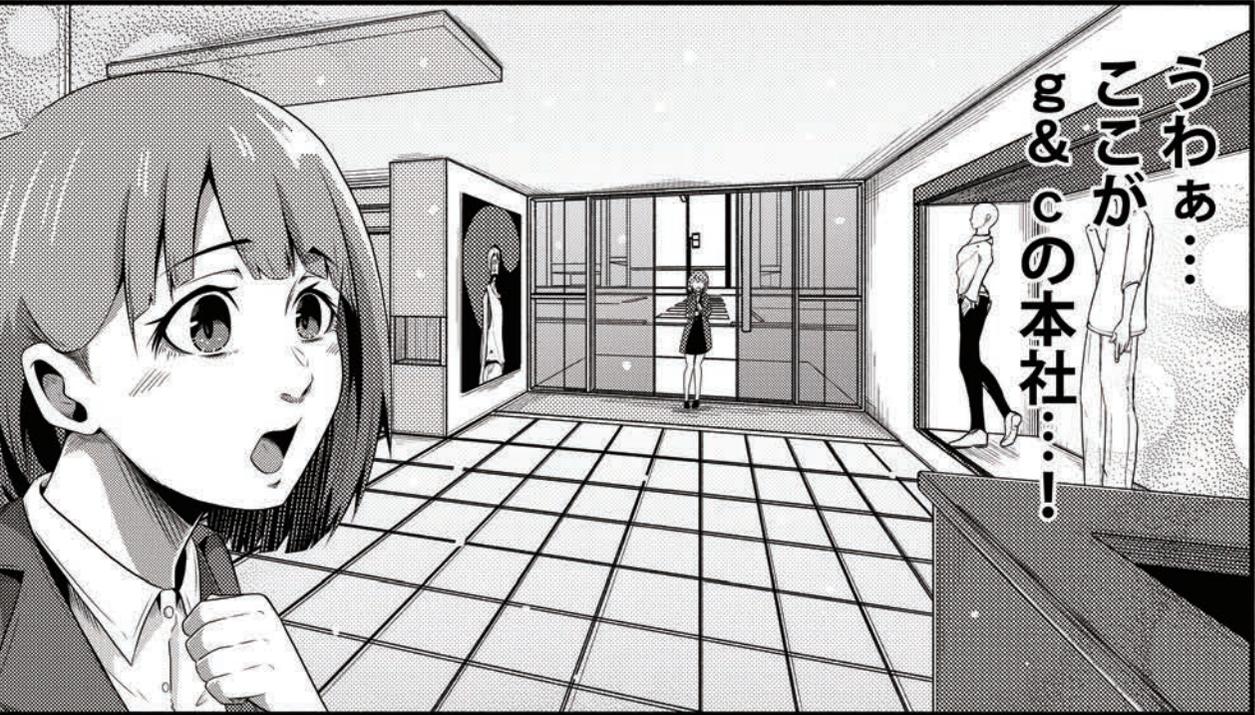
g&c  
バッツ…

花江さん!?  
大丈夫!?

一週間後



うわあ…  
ここが  
g & cの本社…!!



すごい!  
これ新作の  
デザインかな?



こっちは  
東横コレクションで  
見たデザインだ!



すごい…!  
プレゼンで頭  
一杯だったけど…  
こんなに素敵な所なんて

貴方が  
花江さん?





はいっ!

初めまして



はい!  
よろしく  
お願いします!

そんなに  
固くならなくて  
いいわよ

リラックス  
リラックス



いやあ...  
憧れのg&c本社に  
来たので緊張して:

いいのよそんな  
緊張なんてー

今日はあなたの  
デザイン審査を  
する日なんだから

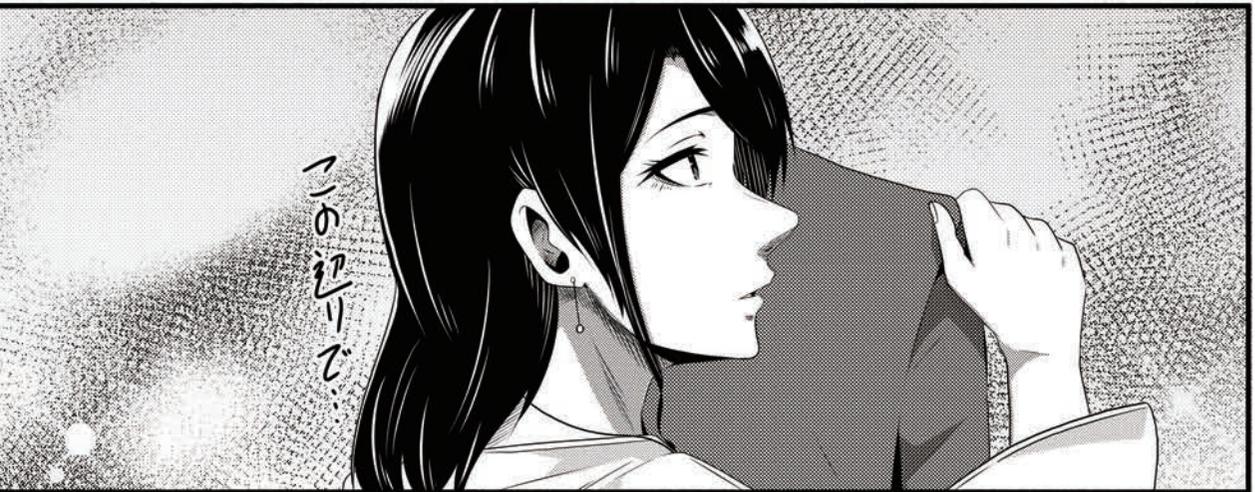
だから  
緊張するんですよ!

g & c



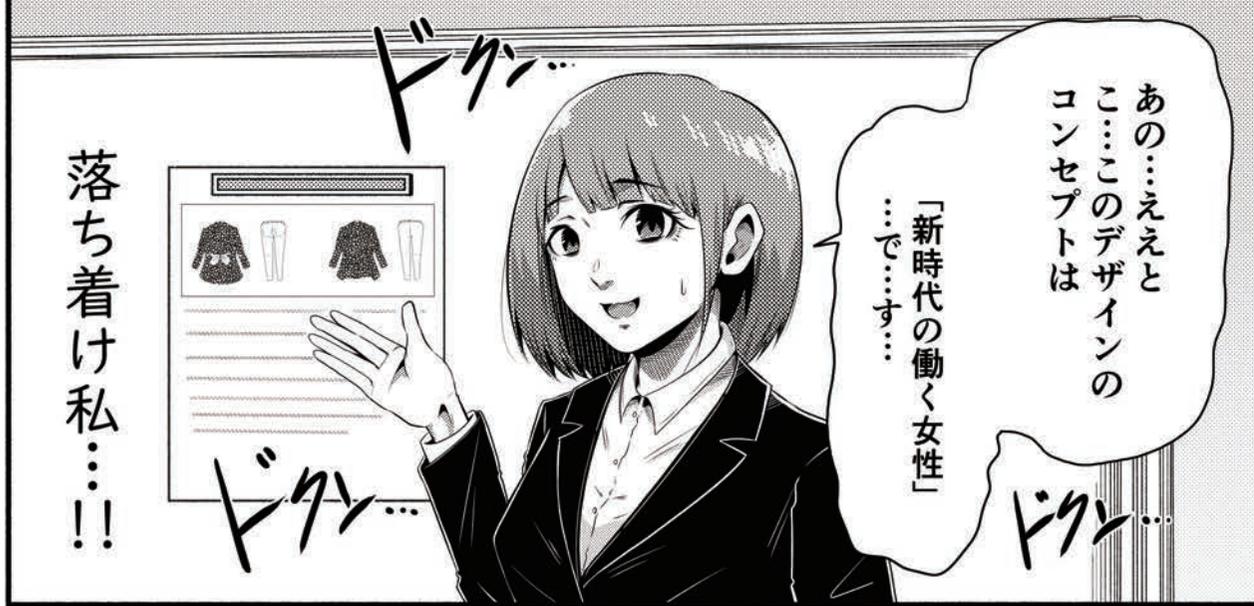
g & c 本社の  
坂本真琴です

今日は  
お越しいただき  
ありがとうございます









あの...ええと  
こ...このデザインの  
コンセプトは

「新時代の働く女性」  
...で...す...

落ち着け私...!!

ドクン...



...していて...  
えーっと...



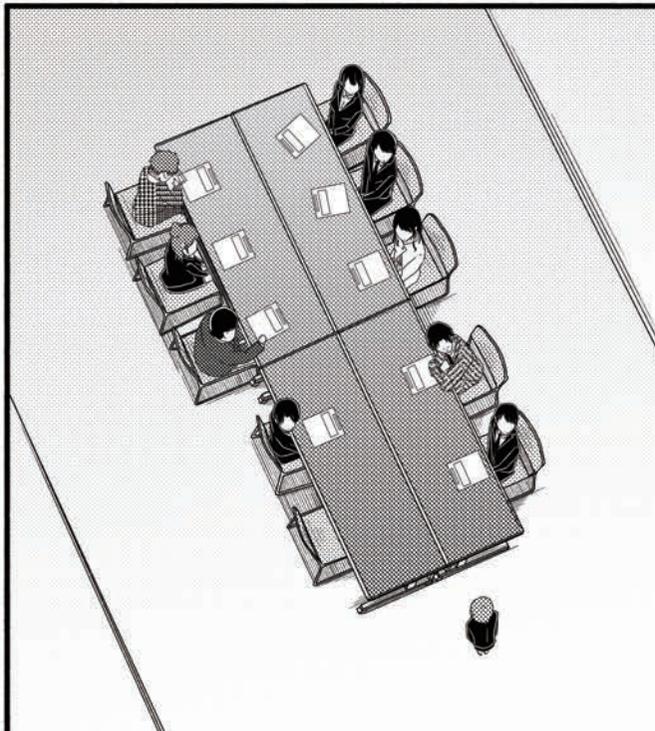
フォーマルな  
服装の人たちと  
一緒にいても  
浮かない  
シルエットで...

後ろ側に  
リボンをつけて  
遊びを入れたり  
していて...



このあと...  
何だっけ...!!

ヤバイ...

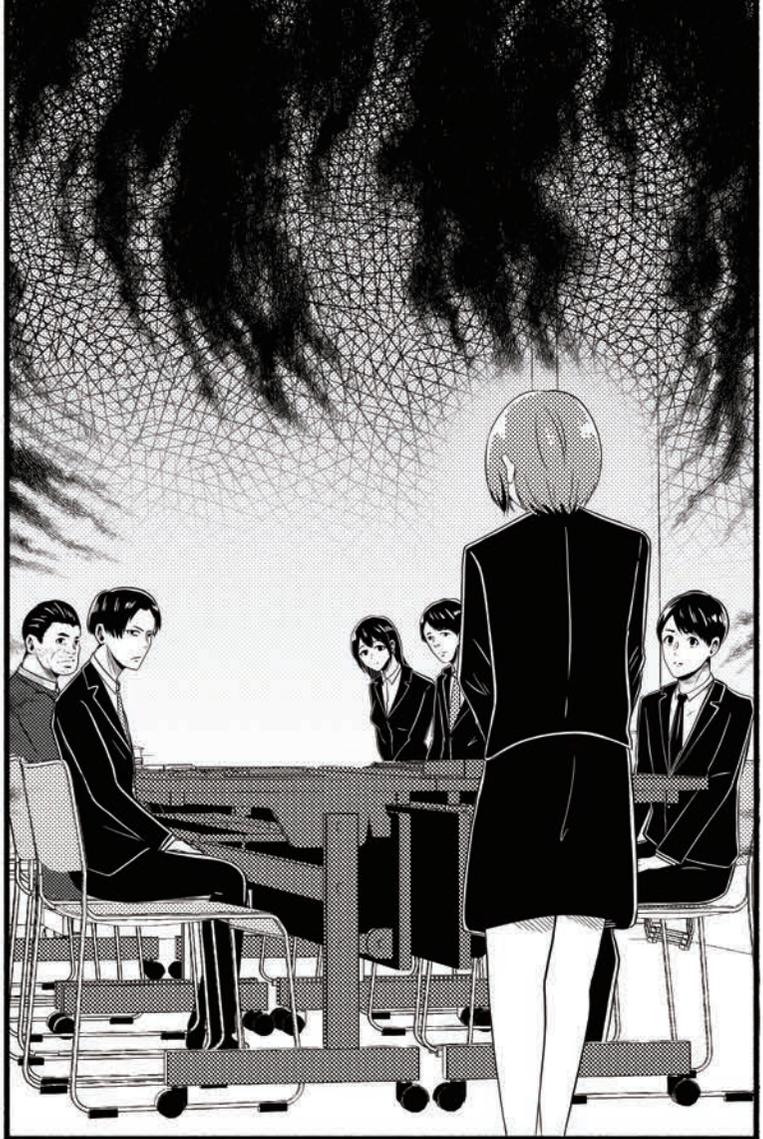




みんな  
待ってる……



空気が……重い……



そう……だよ……



やっぱり  
大学生に  
デザインは  
早かったん  
じゃないか？

休日に着るには  
ちよつとかつちり  
しすぎてるな……

「ビジネスシーンで  
使いながら  
プライベート  
コーデにも  
合わせられる」

っていうことで  
いいのよね？

ここの説明書きに  
書いてある  
通りだけど

はい！  
そうです！

坂本さん！  
ありがとうございます！！  
ございます！！

これは  
お休みの日も  
着られると  
いうことなの？

それとも仕事が  
終わった後  
遊びに行くときにも  
使えるということ？

そうですね…

このデザインは  
なっており、  
外などでも着まわ  
防寒もできま

未来が、  
こそうで



どちらかというとな  
仕事が終わったあと  
ですね

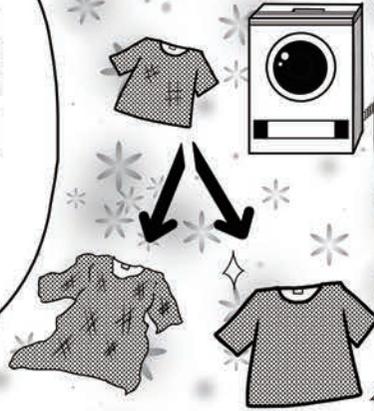
今の時代  
働き方改革で  
労働時間も  
短くなってると思うので  
仕事が終わった後の  
お出かけにも  
使える服を  
イメージしました

ありがとう  
なるほどね

じゃあ  
次に素材について  
聞くけどこの素材を  
選んだのはどうして？

それはですね  
とにかく洗いやすさを  
重視しました  
共働きの家族が  
ほとんどなので  
女性が自分で  
服を洗濯するとは  
限らないですよ

なので服の持ち主  
じゃない人が  
洗ったり干したりしても  
型崩れしないような  
素材がいいなと  
思ったんです



ほう…  
なかなか  
考えられてるな…

なるほど…  
だとしたら  
ありかも…

いいん  
じゃないか？

すごい…  
坂本さんの質問に  
答えただけなのに…！



パクリになっちゃうと販売できないよね

販売できたとしても炎上しちゃうかも…

課長 どうしましょう？  
そうだな…

…パクリ…炎上  
これは販売できないのかな…  
せっかくいい感じだったのよ…

えっ!?!  
坂本さん  
法務部なの!?!

法務部の坂本さん  
としては  
その辺どう思う？  
…そうですね

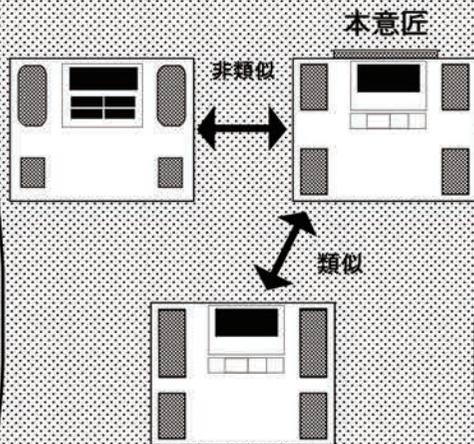
こういう場合  
意匠権の  
侵害の有無が  
大切ですから

意匠権の  
侵害がないか  
事前にリサーチ  
しています

意匠権の侵害…  
…ですか？

はい  
意匠権侵害か  
というの

一般的に  
「デザインの主要部分が  
共通しているか」で  
判断されます



もっと言うと  
消費者の注意を惹く部分や  
使い勝手に影響する  
部分ですね

各会社の  
体重計の商品例

そもそもライバル社の  
新デザインは  
意匠として登録されて  
いないですね

これはライバル社の  
新デザインが  
女性服としては  
比較的ありふれたもので

登録要件を満たさない  
からでしょう

※不競法等も  
検討した結果…



花江さんの  
デザイン自体に  
法的問題はないと  
考えます



それよりも  
花江さんの服は  
前面のデザインは  
ありふれていますが



後ろから見た  
シルエットが  
特徴的です

イン  
お

むしろ  
「24時間輝く女性で  
いよう」という

うちのポリシーに  
あっているのでは  
ないでしょうか



それに  
お話にもありましたが  
就業後に  
遊びに行くときの  
プライベートを演出する  
デザインに  
なっていますよね？

なるほど！  
これはそちらの服と  
大きく違う点だと  
思います



少なくとも  
私はちよっと  
ほしくなりましたよ

後ろ姿に  
特徴があるという  
面白いデザインですから  
モデルの立ち方や  
写真の撮り方を  
工夫し

後ろ姿を  
強調する感じで  
押していくのは  
いかがでしょうか

そうすれば  
花江さんの  
デザインの特徴が  
いきて

ライバル社のデザインと  
類似しているという  
いわれのない  
批判も避けられるかと



※企業等の評判に傷がつくこと

ありがとうございます  
……じゃあ  
法的リスクは低いし  
※レピュテーションリスクも  
うまくやれそうだね

はい

あ……念のためですが  
リスク管理の観点から  
法務も今後の展開に  
関与させてくださいね

もちろんだよ

とうとうです

皆さんにも  
好評だったので  
花江さんの  
デザインは  
最終候補に残す  
ということだ  
いいですかね？

問題ないかと

そうですね

はい

では花江さん  
最終結果はまた  
店長さんから  
お伝えします



今日は  
ありがとうございました

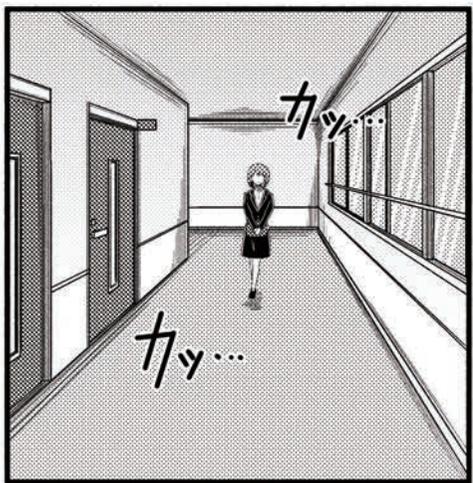


こちらこそ  
ありがとうございました!!



坂本さんが  
私の服の魅力も  
伝えてくれて  
法律の問題まで  
解決してくれ  
ちゃった!

すっごい...!!



カツ...  
カツ...

でもあの  
人  
法務部の  
人  
なんだよ  
ね……

法律以外の話  
も  
た  
く  
さ  
ん  
し  
て  
た  
け  
ど  
い  
っ  
た  
い……

坂本さん

今日も

ありがとう

ございました！

い  
て  
く  
れ  
て  
助  
か  
り  
ま  
し  
た  
！

こ  
の  
こ  
の……

あ……坂本さん！  
この後いいですか？  
新しい企画のことです……

私  
も……  
あ  
ん  
な  
風  
に……

み  
ん  
な  
に  
も  
頼  
り  
に  
さ  
れ  
て  
る……  
か  
ア  
コ  
ソ  
の  
な  
あ……

……あ  
の  
ツ  
！！





ちよつと  
お茶でも  
飲んでいく？



あ…！  
ありがとう  
ございます…！

はいどうぞ



そんな事  
言っちゃだめよ  
誰だって  
大切に扱われる  
権利が  
あるんだから



「権利」って  
弁護士さんみたいな  
こと言いますね



ごめんねー  
こんな場所で

いえぜんぜん…  
そんな事より  
ありがとうございます  
私なんかのために



うん  
だって  
弁護士だもん



だってって…会社の人  
じゃないですか！  
社員証だって…

そう  
私はg & cの  
インハウスロイヤー  
社内弁護士

いんは…う…  
…何ですか？



でも  
全然弁護士っぽく  
ないですね…  
私のお父さん  
なんて…

お父さん…？



ようするに  
特定の会社に所属して  
その会社の法律問題に  
専門的に  
対処する弁護士のことね

私は、会社に  
所属しています!!

実際は今日みたいに  
法律のこと以外でも  
頼りにしてもらったり  
するんだけどね

もしかして  
花江さんの  
お父さんって  
花江衛先生!?

父を  
知ってるんですか!?

私たちの世界では  
敏腕弁護士な  
先生で有名よ

私もこの前  
論文を  
読ませて  
もらったわ

花江衛論文を  
発表

はあ：  
そうなんですネ：

どうしたの？  
弁護士の仕事  
好きじゃない？

そんなことは  
ないですけど  
私は話すのも苦手で  
あははなれないかなって

花江さんは  
昔の私みたいね

そんなこと  
ないですよ：  
さっきの会議だって  
あんなに私が  
話しやすいように  
してくれたり—

あれはね  
全部弁護士の  
仕事で身に  
つけたものなのよ

あれの秘訣  
知りたい？

え…そりや  
もちろん…

たとえば  
困ってる花江さんの  
言葉をみんなに  
分かるように  
引き出す質問は

証人尋問の  
テクニクを  
応用したものなの

それに  
法律的な質問に  
答えるだけ  
じゃなくて

その会社に  
ふさわしい答えかを  
考えるのも  
弁護士として  
事案分析をやって  
磨かれたものね

じゃあ  
はじめから  
できたわけじゃ  
ないんですね

そうよ  
私の大学時代  
なんて…

なるほど…

私も  
弁護士になったら

坂本さんみたいに  
なれるのかなって…

…どうしたの？

…



必ずしも  
時間や雇用契約に  
束縛されずに  
生きる仕事ね

私のように  
特定の企業と  
雇用契約を結ぶ  
弁護士もいるけど  
それも自由な  
選択の結果よ

法律のプロとして  
どう働くか  
自分で決めることが  
できるの



よかったら  
私の知っている  
弁護士を  
紹介するわ

いろんな弁護士の  
話を聞いて  
将来を考えてみても  
いいかも  
しれないわね



えっ!?  
いいんですか!?

もちろん!

それと実は私  
貴方の大学の  
OGなの  
だから親近感が  
わいたというか

坂本先輩...!!  
坂本先輩...!!

あらあら...

真琴でいいわよ  
後輩なんだから





これからも  
宜しくね  
未来ちゃん



宜しく  
お願いします！  
真琴さん！！



市川先生

貞永先生

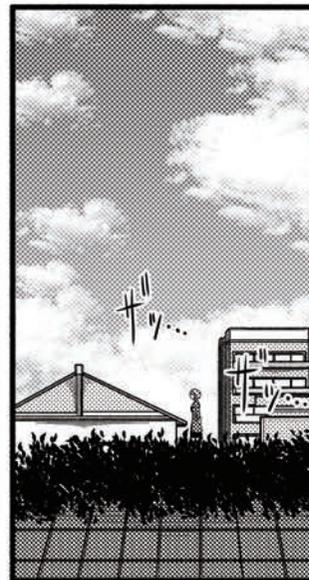
菊間先生

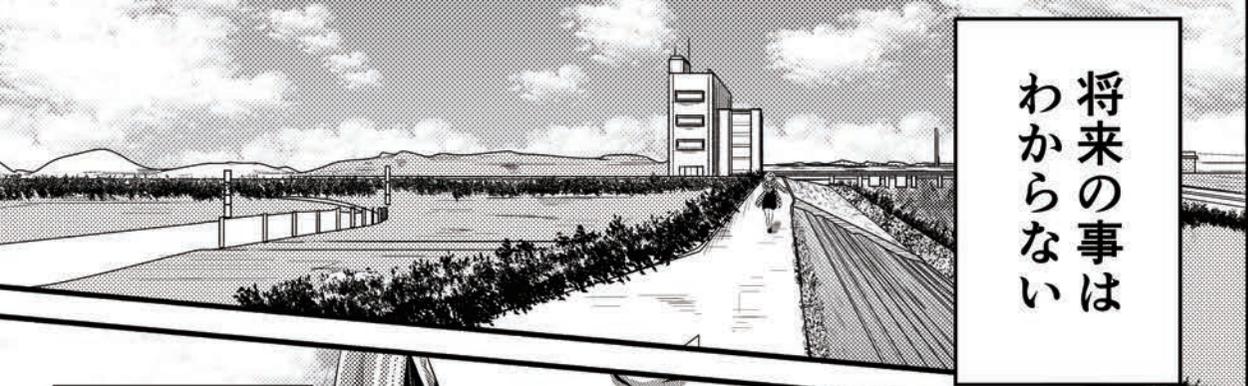
森本先生

それから  
真琴さんに  
紹介してもらって

いろんな  
弁護士の方に  
お会いしました

未来の訪問の様子を詳しくみるには後半へ！





将来の事は  
わからない



だけど  
今は自分の  
可能性を  
広げて見ようと思う



自分らしい

未来の為に  
—



あのね…



ん？

—お父さん！



!!

ガッ  
ギャー



私：  
弁護士目指して  
みようかな…って



弁護士の仕事って  
いろんな可能性が  
あるんだな  
って思ってたさ

そうだな  
最近では弁護士業界も  
多様化が  
進んでるからなー



未来〜！  
やっとな父さんの  
事務所を  
継いでくれる  
決心をしたのから!!

違う違う!!



そして  
父さんの  
事務所を  
継ぐと!!

だから  
違うって!!



ありがとう!!  
がんばるよ!



それにしても…  
我が子が本当に  
弁護士…か



応援してるぞ!  
がんばれ!

それが  
ファッションロイヤー  
花江未来の  
原点だったんですね

もう  
昔の話ですけどね

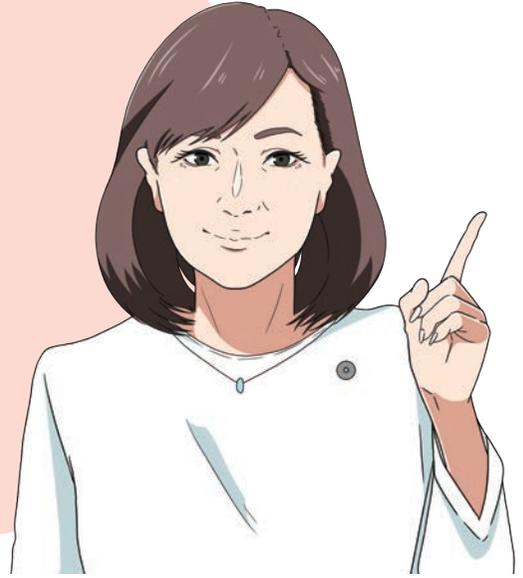
では最後に  
お聞きします

弁護士の仕事  
充実していますか？

もちろんです!!

プロに聞く  
「ファッションロイヤー・  
花江未来」

KIKUMA  
×  
弁護士



KIKUMA YUKINO 菊間 千乃

アナウンサーとしての  
寿命を延ばすために  
弁護士資格を取得

み：マンガの主人公 K：菊間千乃先生

み 「菊間先生、初めまして。元アナウンサーとお伺いしております、私、とっても緊張しています・・・」。

K 「坂本真琴先生から紹介していただいた花江未来さんですよね？」

初めまして。弁護士の菊間と申します。本日はよろしく申し上げます。」。

み 「申し訳ありません、緊張して自己紹介を忘れました・・・」。

あの、個人的にはアナウンサーだった方が弁護士をやっていらっしゃるのがすごく不思議です。なぜ弁護士を目指されたのでしょうか。」。

## もつと世の中の仕組み、 つまり法律をきちんと学びたいと思うように

K 「元々はアナウンサーとしての寿命を延ばすため、弁護士資格の取得を目指しておりました。」

私は、小学生のころからアナウンサーになりたいと思っていました。また、報道アナウンサーになりたかったので、世の中の仕組みを理解する必要があると思います、大学の学部も法学部を選びました。

そして、晴れてアナウンサーになったのですが、当時、ほとんどの女性アナウンサーは、30歳になる頃までに結婚して、TV局を辞めていたのです。そうすると、大学を卒業してからの7年間位しか、アナウンサーとして活躍できないわけです。なりたくてたまらなかつたアナウンサーになれたのに、7年間しか活躍できないのはもったいない。

そう思った私は、弁護士という専門知識があれば、ほかのアナウンサーにはない付加価値ができ、アナウンサーとして

長く活躍できると考えました。これが弁護士を目指したきっかけですね。」

み 「アナウンサーとして活躍するために弁護士を目指されたんですね。」

でも、菊間先生は今弁護士業をメインに活躍されていますが、なぜなのでしょうか。」

K 「それは私が通っていた大宮法科大学院で教鞭を取っていた弁護士の先生方が素晴らしいからです。」

私は、アナウンサーの仕事をするうちに、もつと世の中の仕組み、つまり法律をきちんと学びたいと思うようになりました。

そんなおり、第二東京弁護士会の先生から、『夜間コーススクールができるから、仕事を辞めなくても弁護士を目指せますよ。』とお声がけを頂き、大宮法科大学院大学に入学しました。

私にとって、大宮ローの授業は最高でした。大宮ローでは、判例集に載るような裁判を実際に担当された弁護士が教えてくれるのです。

正直、大学の法学部の授業は私にとって非常に退屈でしたが、大宮ローの授業を履修するうち、この授業で習得した知識をもって司法試験に受かって、アナウンサーをしている以上、知識のまま終わってしまう。

これはもったいない、むしろ、弁護士としてこの知識を武器として使い、世の中をよくしたい、困っている人を助けたいと思うようになりました。」

み 「それで弁護士になられたわけですね。実際に弁護士になられてどのような案件を多く担当され、どうお感じになりましたでしょうか。」

K 「顧問先企業の裁判対応が多いですね。裁判の中では、労働に関する紛争が一番多いです。」

また、企業のガバナンスに関するご相談や、法令等をいかに遵守していくかと

いう相談、つまりコンプライアンス案件も多いです。

また、セミナーの依頼も多く受けております。これは、法律が改正された時は役員に改正点を講義してほしい等の依頼が多いですね。

他にも色々弁護士としてお仕事をさせていただいておりますが、弁護士としての仕事を通じて思うのは、弁護士とはこんなにも色々なことができるのか、ということですね。

み 「弁護士が色々できるとは、具体的にどういうことでしょうか。」

K 「例えば、私は複数のスポーツリーグの理事を務めさせていただいておりますが、スポーツリーグの組織をきちんと構築する、難しい言葉でいうとガバナンスという観点から、弁護士の存在は不可欠だと思います。

同様に、会社から独立した役員である社外取締役も務めておりますが、リスク管理やガバナンスの観点から、弁護士が選ばれることが多い気がします。

私はTV番組で法律を解説することもありますが、これも弁護士だからできることです。これらのごとにすべて弁護士という専門職がベースにあり、弁護士の役割が実に多様であると感じています。」

み 「菊間先生ほど多種多様な活躍をされている弁護士の先生であつても、弁護士であることが活躍のベースになっていると感じられるのは驚きです。

では、逆に、アナウンサー経験が弁護士業に活きているとお感じになることはあるのでしょうか。」

K 「そうですね、例えば、裁判手続きの最中に私が証人尋問をしたとします。私の個人的な印象ですが、多くの弁護士の方は、ご自身の依頼者に有利になるような証言を引き出そうと証人への質問へ躍起になります。

でも、裁判の結果を決めるのは裁判官ですから、裁判官がどういう風に証人尋問を聞いているかが重要ですよ。テレビで言えば、裁判官は視聴者だと思つたんです。制作側が独りよがりな番組を作つても、視聴者に響かなければ意味がないのと同じように、聞き手であり裁判者である裁判官が、最も聞きたいことは何か、今の証人の説明を聞いて、裁判官は納得しているか等、常に裁判官の呼吸に合わせた証人尋問をするように心がけています。

これはアナウンサー時代に生放送番組を数多く担当してきた経験が活きていると思います。

また、視聴者を意識するという視点は、セミナーの仕事をするときにも役に立っています。

私は、セミナーでは、受講者の合間を歩きながら、どんどん質問をしていきます。

弁護士という専門職がベースにあり、その役割が実に多様であると感じています

## 弁護士は、自分の知識、経験をフル動員して 依頼者を守る、やりがいのある仕事です

す。私のモットーは、『質問を当てた人に損をさせない』です。

つまり、たとえ間違った回答をしたとしても、その人が恥ずかしい思いをしないように、どんな回答も拾っていく、会話を重ねて正解に導いていく、ということとを心がけています。

そうやっている、受講者の皆さんは積極的に発言してくださるようになるんですよ。

これも生放送番組で、様々な解説者やコメントーターと共に番組を進行していた経験が活きていると思います。」

み 「弁護士業にはいろいろな経験が活きるのですね。

最後の質問ですが、私たちのような学生や若い社会人にお伝えしたいことは何でしょうか。」

K 「人生で無駄な経験はないと思っています。す。

私のアナウンサー経験が活かしているように、弁護士業をやるにあたり、社会人としての経験が大いに役に立ちますので、社会人の方にも、セカンドキャリアとして、もっと弁護士を目指していただきたいです。

また、若い方は、選択肢aとbのどちらを取るべきか、どちらが正解かと悩んでいることが多いと感じます。若いうちにしかできない選択肢があるのであれば、まずはそちらを優先すべきですが、いずれにせよ、私は、両方やるうよよ！と思っています。

人生100年時代ですから、やりたいことをすべてやるぞ！という気持ちでいいのではないかしら。そして、どんな道を選ぶにしても、自分の気持ちで選んでいただきたいです。

みんながかっこいいと評価する、とか親に勧められた等の理由で自分の進路を決め

ると、壁にぶち当たった時に踏ん張れないと思うんですよね。自分で選択した人生であれば、やりがいや生きがいも自ずとついてくるかなと思います。

弁護士は、自分の知識、経験をフル動員して、依頼者を守る仕事です。とてもやりがいがありますよ。是非、ご自身のキャリアに弁護士という選択肢も加えてくださいな。」



ゲーム  
+  
弁護士



SADANAGA KENSUKE

貞永 憲佑

み：マンガの主人公 S：貞永憲佑先生

み「は、初めまして。坂本真琴先生から紹介していただいた花江未来と申します……?」

S 「初めまして、花江さん。弁護士の貞永憲佑です。なんだか硬直しているように見えるのですが、大丈夫ですか?」

み「あの、坂本先生からあらかじめ見せていただいた写真とイメージがあまりにも違うので、少し戸惑っているというか……」

S 「ああ、あれはゲーム・プロデューサー時代の写真なので、今とはだいぶイメージ違いますよね(笑)」

脱サラ↓弁護士に。

ゲーム・プロデューサーを経て、大分で開業!

み「え、ゲーム・プロデューサー？……あの、坂本先生からは貞永先生が非常にユニークなご経歴をお持ちと伺ってはいるのですが、どういうご経歴なのですか。」

S 「私は元々、自動車会社のX社に勤めるサラリーマンだったんですけどね、弁護士になり、ゲーム・プロデューサーとして経験を積んだ後、大分県で開業しているのですよ。」

み「貞永先生のご経歴がユニークすぎて、頭が追いつきません…… えーと、X社という日本を代表する自動車会社の一つですよ？」

なぜX社を辞められて弁護士を目指されたのでしょうか？」

S 「私は大学の学部が法学部だったため、X社に入社した後、X社に対し、米国において提起された訴訟を社内から担当することになったのです。」

米国における訴訟ですから、当然、米国人弁護士とも一緒に仕事をします。米

## 法律の仕事を極めていくには、 弁護士資格を取っておいて損はない

国人弁護士と一緒に仕事をするうち、法律の仕事を極めていくには、弁護士資格を取っておいて損はないと思っただですよ。

また、同じ時期に家族が交通事故にあって、法学部出身の法務部員なのに何も家族を助けてあげられなかったのが歯がゆかったというのがあります。

そこで、X社を辞めて弁護士を目指そうと思いました。」

み「それはまたずいぶん思い切ったご決断ですね……。」

実際に弁護士になられた後、どのようなお仕事をされていったのでしょうか。」

S 「最初の2年半位は、千葉県にある法律事務所で、色々な方の法律相談をお受けしたり、訴訟を担当したりしていました。」

いわゆる町弁と呼ばれるお仕事ですね。」

み「そこからどうしてゲーム・プロデューサーをされることになったのでしょうか。」

S「きっかけは、弁護士として何か専門分野を作りたいと思ったことです。専門分野を作るため、インハウス・カウンセラー、つまり坂本先生のような社内弁護士をまずは目指しました。」

いくつかの企業からお誘いを頂いたのですが、専門分野を作るなら、自分の好きな分野を専門にしたいと思い、ゲーム会社Yの法務部門で勤務することにしたのです。

ゲームに法律問題があるのかと思われるかもしれませんが、例えば、スマホゲームだと、ゲーム内のアイテムを購入するために、課金が必要になりますよね。」

その課金にも法律による色々な規制が及んでいて、その規制を遵守するために、ゲームの内容が影響を受けることがあるのです。そういう問題を解決するためにY社は私を雇ったわけです。」

み「ゲームに法律問題があるとは思いませんでした。」

でも、そこからゲーム・プロデューサーになられたというのが不思議です。」

S 「私は、ゲームの面白さを減らさずに、ゲームが法律に違反しないようにしようと思っていました。そのためにゲーム作りを色々勉強しました。」

また、ゲームの法律問題を解決する以上、当然ゲームを作っている人のアイデアを確認していきます。

そうやってゲームについて学び、経験

を積んでいくうち、新作ゲームについてのY社内の社内コンペが開かれたので、そこに応募してみたのです。

結果として賞を頂き、その受賞をきっかけにゲーム・プロデューサーに転身したのです。」

み「弁護士からゲーム・プロデューサーへ転身……そんなキャリアがあるんですね。」

では、何故いま大分県で弁護士として開業されているのでしょうか。」

S 「新型コロナウイルス感染症のパンデミックがきっかけです。このパンデミックにより、エンターテインメント業界でも、色々な問題や課題が発生しました。」

そのため、様々なエンターテインメント系の企業から、弁護士としての私の助力が欲しいと言われるようになり、弁護士に戻る

ことを決意したのです。

そして、大分県で開業したのは、家族のためと、自分自身のさらなるキャリアアップのためです。」

み「ご家族のためと、ご自身のキャリアアップ、ですか？」

S 「私は子どもの頃からいるんな土地に住んだのですが、いつか自分の地元と呼べる場所を作って、家族と長く住みたいと思っていました。」

大分県は初めて訪れたときから大好きな場所だったので、この土地で人生を送りながら、色々な仕事をしていきたいと思ったんです。

また、私は、コンテンツ・プロデューサーと町の弁護士の仕事を両立したいと考えています。

ただ、東京にいと、どうしてもどちらかに仕事の比重が偏り、この両立は難しいと思っていました。

そこで、思い切って大分県に移住したのです。」

ゲームが法律に違反しないように……  
でもその面白さは減らしたくない！

# 自由業である弁護士の醍醐味は 自分の人生を自分でデザインできること

み「X社を辞められた時と同様、ずいぶん思い切ったご判断ですね……」

実際、大分県に移住されていかがでしょうか。

S 「まず、家族の笑顔が増えましたね。近場にお花畑があったり、山で遊んだりできるのは、やはり自然豊かな場所の大きな利点です。」

また、自分自身のキャリアについては、弁護士としてもプロデューサーとしても成長できていると感じています。

今の私の一日は、例えば、朝一番で刑事事件で弁護をしている方の話を聞きに行き、その後離婚事件の相談を受け、相談終了後、裁判所で証人尋問を行い、裁判所から戻ったら東京のゲーム会社の法律相談を受け、夜はプロデューサーとして花江さんの性格を考える、というような感じです。」

み「え？私の性格？」

S 「忘れてください（笑）。」

とにかく、東京にいた時よりも会う人が格段に増えましたので、弁護士として、あるいはプロデューサーとしての引き出しが格段に増えました。

どちらの仕事の質もものすごく向上している感覚がありますよ。」

み「ご家族の幸せと、ご自身のキャリア・アップを完全に両立させるなんて、すごいですね！」

S 「これこそが自由業である弁護士の醍醐味だと思います。自分がどう生きたいか、から逆算して自分のキャリアを考えられるのが自由業ですから。」

他人の真似ではなく、ましてや会社に命じられたからではなく、自分が生きたいと

思った生き方を選ぶー

弁護士って、自分の人生を自分でデザインできるのですよ。」

み「自分の人生を自分でデザインできる、自由業、弁護士……」

大好きなファッションに関わることで、憧れの坂本先生を目指すことが両立できるかもしれない……」

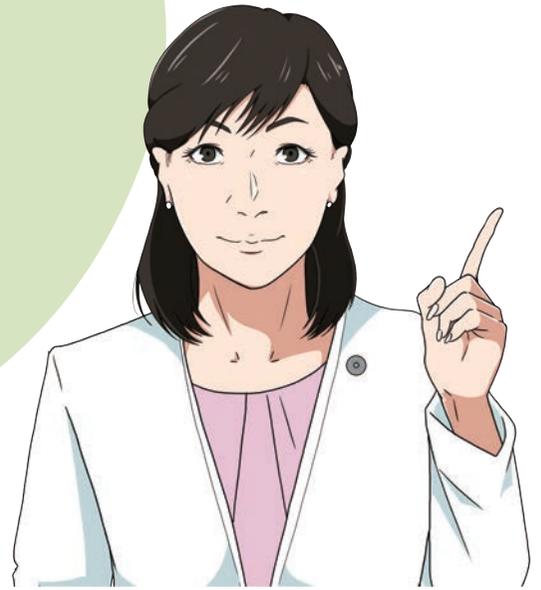
S （優しく微笑む）

み「すみません、すこしぼんやりしてしまいました。本日は貴重なお時間ありがとうございました。」

S 「いえいえ、頑張ってくださいね。」



# 学校 × 弁護士



MORIMOTO CHIKAKO

## 森本 周子

学校問題に関する

アドバイスを提供する

スクールロイヤー

み：マンガの主人公

M：森本周子先生

M 「坂本真琴先生から紹介された花江未来さんですね。

おはようございます。弁護士の森本です。」

み 「おはようございます！はい、花江未来と申します。

スクールロイヤーのお仕事に興味があるので、是非森本先生のお話をお伺いできればと思います。

早速の質問で恐縮なのですが、森本先生は、弁護士資格だけでなく、小学校や中学校の教員免許もお持ちなのでしょうか。」

## 子どもたちの最善の利益のため、 学校が適切に運営されるよう幅広くサポート

**M** 「確かに教員免許をお持ちで、教員として勤務している弁護士の方もいらっしゃると思いますね。

ただ、スクールロイヤーにもいろいろ意味があって、私の場合は、教員免許は持っていません。

**第二東京弁護士会の子どもの権利に関する委員会の推薦を受けて、自治体Xの教育委員会やその教育委員会が所管する学校に、学校問題に関するアドバイスを提供しているのです。」**

**み** 「スクールロイヤーは、当然に学校の先生もやっていると思いますでしたね。弁護士であるというだけでなく学校や子どもに関わることができるのですね。

「具体的にどのようなお仕事なのでしょうか。」

**M** 「自治体Xの教育委員会が所管する幼稚園と小中学校は約90校あり、私はそのうち約30校園を担当しております。」

「そのため、学校の先生方への研修、学校で起きる問題についての事実確認や法的側面からの分析、児童生徒の保護者への対応に関するアドバイス、小中学生へのいじめ予防授業など、かなりいろいろなことをやりますね。」

**み** 「学校で起きる問題に法的側面があって、弁護士の力が必要になるというのが少しイメージしづらいです。」

**M** 「そうですね、では、学校で児童間のいじめがあったとしましょう。」

「日本には、いじめ防止対策推進法

がありますから、学校には、いじめの未然防止や、いじめへの対応を行うための法律上の義務があります。ですから、学校に対して、同法に沿った対応や報告などを行うようアドバイスします。」

「そして、私達スクールロイヤーは、学校や教育委員会にアドバイスをしますが、常に、子ども達の『最善の利益』を念頭に置いています。」

**み** 「子どもの最善の利益ですか？」

**M** 「はい。学校でいじめがあると、子どもにとって苦しい状況です。」

「できる限りいじめを防ぎ、また、いじめが起こった場合も適切に対処できるように、学校が適切に運営されていることが子どもにとって一番大事ですよ。」

「私たちスクールロイヤーは、子どもたちの最善の利益のため、学校から少し離れた立場から学校が適切に運営されるようお手伝いしている

のです。」

み 「いわば学校の見守役ですね。」

弁護士が学校を見守っていることも、弁護士が学校にそんな形で関われることも思いもありませんでした。」

M 「他には、例えば、不登校の児童生徒で、その背景に家庭内での問題等が考えられるような場合に、スクール・ソーシャル・ワーカーの方から相談を受け、地域の子ども家庭支援センターと連携を取ることもなどのアドバイスをすることもありま

み 「子どもを守るため、いろいろな役割を果たす必要があるのですね。」

では、森本先生は、なぜスクールロイヤーを目指されたのですか？」

M 「弁護士になるために必要な司法修習というものがあ

その修習の一環で、少年事件で行われる心理検査と同じものを受けました。」

その結果、家庭裁判所の調査官という少年事件の調査などを担当する方から、森本さんは、通常の修習生と真逆で、一般的な非行少年の検査結果の傾向と同じで珍しいねと言われたんですね（笑）

また、同じく、修習の時に、児童自立支援施設の方からお話を伺う機会があり、その方が修習生に向けて言われた、『世の中には努力したくてもできない環境に生まれる子どももいる。努力できた自分の道を当たり前と思っ

た。』との言葉が強く印象に残りました。そのため、修習中から子どもに関わる仕事に興味があったのです。また、弁護士になった後、米国の

ロースクールに留学し Children's Legal Clinic という授業を履修しました。」

日本に戻ってきた後、私自身も第一子を出産して子どもや教育問題にさらに関心が強くなったことから、子どもの権利に関する委員会に所属して、スクールロイヤーになったのです。」

み 「実際にスクールロイヤーになられてみて何をお感じになりましたか？」

M 「スクールロイヤーは、ある意味第三者的立場から学校の問題に関わりますから、校長先生を含む学校の先生方のお考えもうかがう一方で、児童生徒の保護者の悩みやご主張も知ることができます。」

学校を取り巻く状況がよく見えるから、

より踏み込んだアドバイスを心掛けています

## 弁護士でも子ども、つまり未来に関われる ということも知っていたら良かった

そうすると、学校を取り巻く状況がよく見えるのです。そのため、法的なアドバイスにとどまらず、子どもの福祉や成長のためという視点を持って、より踏み込んだアドバイスをすることを心掛けています。」

**み** 「弁護士の先生が法的なアドバイスを超えたアドバイスもされるのですか。なんだか意外です。  
弁護士の先生の専門は法律ですから、法的アドバイスではないアドバイスに説得力があることが不思議です。」

**M** 「学校の法的責任を回避するためだけにスクールロイヤーがいるわけではない、ということです。」

学校には様々な問題があります。いじめ、学校事故、不登校、児童生

徒同士のトラブル、校則問題など、学校に関する問題には枚挙にいとまがありません。

これらの問題に関しては、法律や文部科学省などのガイドラインがあります。その法律や通知だけで全てが解決できるわけではありません。  
弁護士は、法律、とりわけ憲法の学習を通じて、世の中には様々な価値観があることを理解し、少数意見を含めたいろいろな意見に耳を傾けること、いろいろな立場に立って物事を考えることに慣れていると私は思います。

ですから、弁護士は、学校問題に関しても、法律だけに縛られず、色々な立場や利益、とりわけ子どもの利益を考慮したアドバイスができるのだと思います。」

**み** 「子どもの利益のために最善を尽くすのがスクールロイヤーというわけですね。最後の質問ですが、私のような若い世代に伝えたいことは何でしょうか。」

**M** 「子どもは未来です。  
そして、教育は子どもの未来にとって大事なツールです。ですから、若い方には教育に興味を持っていただきたいです。」

また、弁護士でも子ども、つまり未来に関われるということも知っていただきたいですね。」

**み** 「未来に関われるというのは素敵ですね。本日は貴重なお話、ありがとうございました。」



世界 ×  
弁護士



ICHIKAWA KEIICHIRO 市川 啓一郎

み：マンガの主人公  
！：市川啓一郎先生

み 「初めまして、坂本真琴先生から紹介されました、花江未来と申します。本日は市川先生のお仕事についてお話を伺いたく、よろしくお願いいたします。」

！ 「初めまして、弁護士13年目の市川と申します。」

日本国外に本拠のある金融機関、いわゆる外資系金融機関の東京オフィスに勤務しております。

こちらこそよろしくお願いいたします。」

外資系金融機関勤務！  
社内外の外国人と英語  
でコミュニケーション

み 「早速ですが、市川先生はどんなお仕事をされているのでしょうか。」

「海外企業が事業に必要な資金を日本で集めることや複雑な金融規制への助言等を主な仕事にしております。」

み 「そうしますと、海外企業が日本で資金を集めることや複雑な金融規制に関連して発生する裁判を会社の中から担当される感じでしょうか。」

「いえ、裁判にはもう10年近く関与していませんね。私の仕事は、海外企業が日本で資金を集める際の規制やその他の複雑な金融に関する規制を整理して社内に説明し、取引の方向性にアドバイスをしたり、取引に関連する書類の内容に法的な問題がないかを確認したりすることですね。」

私の勤務先は外資系企業ですから、案件に関する社内の人でも外国人が

“ This is a pen.” ヌン

## 中学の英語教科書の例文が私の英語の原点

多いのです。

例えば、私の上司は、海外に居住する外国人弁護士です。

そうしますと、日本の法律について、日本のことに詳しくない外国人にから説明する必要が出てくるわけです。

また、日本の法律に照らした場合、取引が適法かどうか、取引に関する法的リスクは何かといった分析も外国人に説明しなければなりません。」

み 「私の父が弁護士なのですが、ずっと裁判をやっている印象があるので、10年近く裁判に関与されていないというのは驚きました。」

また、外国人への説明といたしますと、やはり英語で行うことになるのでしょうか。」

「もちろんそうです。私の業務の7〜8割は英語で行われています。」

み 「ものすごく英語を使われるお仕事なんですね。」

そうすると、市川先生は帰国子女で、語学力を買われて現在の会社に勤務されている感じでしょうか。」

「いえいえ、私は日本生まれの日本育ちで、約1年間の米国留学を除いて、海外で生活した経験もありません。」

“ This is a pen.” という中学の英語教科書の例文が私の英語の原点ですから、私の英語力など酷いものです。」

み「では、なぜそれほど英語が必要な環境で活躍することができるのでしょうか。」

「活躍できていくかわかりませんが（苦笑）、とりあえず今の会社に勤務できているのは、私が弁護士だからですね。」

み「え、そうなんですか？」

私の場合、弁護士の先生というところの父のような裁判の専門家の印象が強く、国際的なお仕事とどう関係するのか、イメージしづらいです。」

「日本の裁判は、通常、日本の法律に基づいて行われますよね。」

つまり、日本の弁護士は、大前提

として、「日本の法律の専門家」なんです。

そして、外資系企業にとって「日本の法律の専門家」、つまり弁護士は必要不可欠なんですよ。

外資系企業が日本で事業を行う際、当然ですが日本の法律を遵守する必要があります。

また、日本の慣行に沿った形で事業を行わないと、日本の企業から相手にされません。

弁護士は、「日本の法律の専門家」ですから、日本の法律や慣行に精通しています。

だから、日本で事業を行う外資系企業にとっては、弁護士が必要不可欠なのです。」

み「ようやくイメージがわいてきました。確かに、日本の法律の専門家といえば弁護士なのですね。」

ところで、今のお仕事をすると難しいことは何でしょうか。」

「語学力もそうですが、日本と海外の法律や慣行の違いを説明し、調整をしていくことが一番難しいです。」

海外に本拠がある企業といえども、日本で事業を行う以上は日本の法律を遵守し、日本の慣行を尊重しなければなりません。

しかし、外国人からすると、日本の法律や慣行が理解しがたく、海外の法律や慣行の下で出来上がった海外での事業の進め方をそのまま日本に持ち込みたがるのがよくあります。

そのため、海外での事業の進め方のままでは、日本の法律や慣行に照らして問題があって、日本にあった形での事業の進め方の必要性があることを外国人に説明の上、必要な提

## 外資系企業にとって「日本の法律の専門家」、

## つまり弁護士は必要不可欠なんです

## 日本の弁護士の問題提起が 国際的な議論の流れに一石を投じたことも

案を行っていかねなければなりません。

いわば日本と海外の「橋渡し」です。」

み 「弁護士が日本と海外の橋渡しを出来るとは、まったく考えていませんでした。

では、どういう時にお仕事のやりがいを感じるのでしょうか。」

「やはり、自分の提案によって、これまで出来ていなかった取引ができるようになり、周囲から感謝された時が一番やりがいを感じます。

また、規模の大きな取引や議論に  
関与できるのもうれいすね。

例えば、複雑な金融取引に関する、  
国際的な制度設計に関する議論にも

参加することができます。

日本の弁護士の問題提起が国際的な  
議論の流れに一石を投じたこともある  
んですよ。」

み 「それはとても面白そうですね。

私は、父の印象もあってか、弁護士  
になると日本国内で完結する仕事しか  
できないものと思っていたのですが、  
決してそういうわけではないんです  
ね。」

「はい、弁護士という資格、その  
専門性をどう活用するかが大事なのだ  
と思います。

私もまだまだ道半ばですが、「日本  
の法律の専門家」という専門性を武器  
に、日本が関連する国際的な取引を経

験し、英語力や外国人とのコミュニ  
ケーションの方法を磨いていけば、  
活躍の幅が広がると思います。」

み 「弁護士って本当にいろいろ  
な働き方ができるんですね。大変勉  
強になりました。 本日はお時間い  
ただきありがとうございました。」

「いえいえ、こちらこそお付き  
合いただいたありがとうございます  
た。」



## お わ り に

これを読んで下さった皆さん、これまで「弁護士」について持っていたイメージが変わりましたか？弁護士の活動は法廷だけではなく、企業内や自治体等、様々な分野に広がっています。社会や経済がすごいスピードで変わる中で、法的な知識や考え方（リーガルマインド）を活かして、多様なスタイルでそれらに関わっていく「弁護士」という仕事。  
あなたの未来の選択肢として、是非考えてみて下さい！

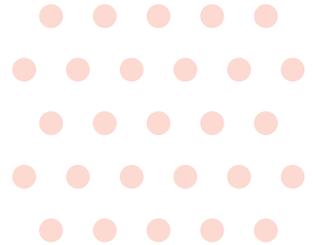
2022年度 第二東京弁護士会会長  
菅沼 友子



電子版はこちら



第二東京弁護士会  
Daini Tokyo Bar Association



「弁護士・ミライ」  
企画、発行

「未来× ミライ=弁護士」 原作  
作画  
著

2022年11月初版  
第二東京弁護士会 法曹養成・法科大学院委員会  
代表：03-3581-2255

サダナガケンスケ  
ささきゆうさく  
第二東京弁護士会



弁護士・374